

地盤改良工とは・・・

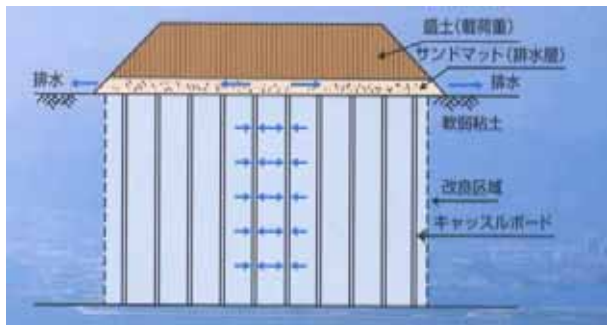
地盤改良とは何か？ 字の如く地盤を改良するんですが・・・まあ簡単に言うと『軟らかい地盤』を『硬い地盤』にするという事です。

私達は道路を作っていますがその地盤は『泥炭』という厄介なやつに犯されています、『泥炭』というやつは田んぼなどには最適なんですが道路を作るには最悪のやつです！なんで最悪なのか？まずは水分を多く含んでいるので車がはしれません！それに有機物を多く含んでいるので土を盛ると沈下します・・・もう最悪です！ではこの『泥炭』地盤を安定させるにはどうすればいいのか？

方法はたくさんあります、その地盤の土の種類や地形等の条件によって工法は決まります、当現場では『CDM工法』と『パーチカルドレーン工法』を採用しています、ではこれからその工法について簡単に説明しましょう。

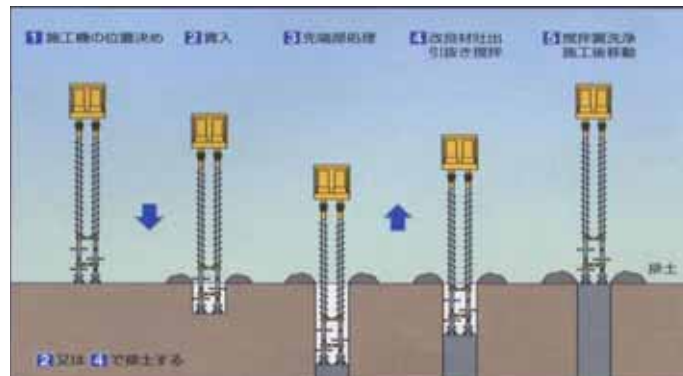
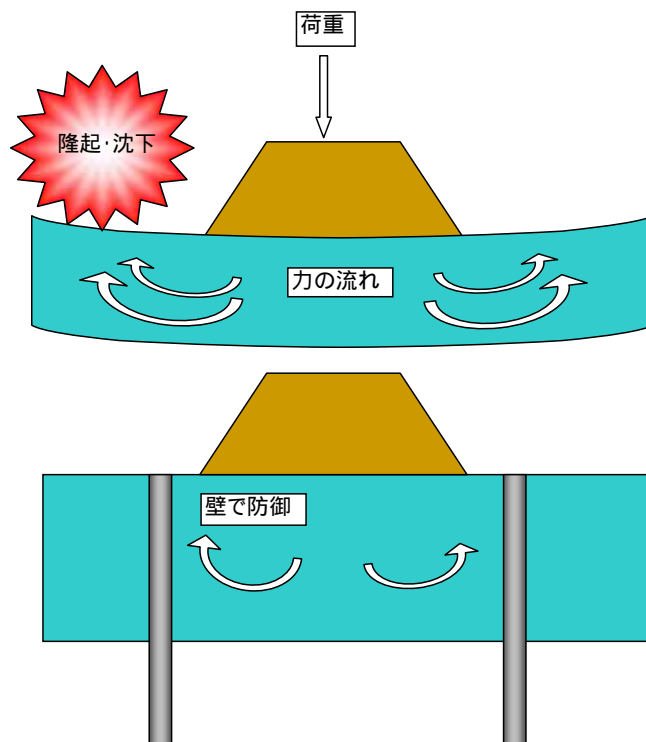
まずは水分を減らす！

先ほども述べたように『泥炭』等の軟弱地盤には共通して水分を多く含んでいますので、まずは水分を抜きます！軟弱地盤に『ペーパー』まあ紙ですね～紙は水を吸い上げるという原理を利用し、地中に紙を打ち込み地中の水分を吸い上げます。さらに『サンドマット』という砂の層を作り、そこに排水する。紙(カードボード)を打ち込んでいます



次は壁を作る！

水分を減らしたからもう大丈夫！ってな訳にはいきません！！このような軟弱地盤に盛土をすると周辺の地盤に悪影響を与えかねません、盛土により上部から荷重がかかると地盤は外側に逃げようとする力が加わり、周辺地盤が隆起したり沈下したりします、そこで地中に杭を連続に構築し壁を作るわけです。



地盤に杭を作ってます、長さは20mくらい！



出来上がり！！



まあこんな感じです。
もっと知りたい方はボンス2号に聞いてください。